

授業科目：口腔生化学，生化学

担当教員：鈴木 直人，田邊奈津子，津田 啓方

授 業 の ね ら い	<p>生化学および口腔生化学の分野の研究領域は，口腔領域の細胞・組織の代謝，歯周疾患の病態解明などを中心とするものが大部分です。これらの研究成果は，歯科基礎医学の発展に貢献するのみでなく，歯科臨床における“Evidence Based Medicine”にも寄与する重要な研究領域です。</p> <p>歯周疾患の病態に関する研究は，歯周組織を構成する硬・軟組織やそれらを構成する細胞の炎症等に対する応答性を中心に細胞生物学的・分子生物学的アプローチによって膨大な知見が蓄積されつつあります。一方，高齢社会を迎え，自分の歯で摂食することは，身体的健康のみならず精神的健康の増進に重要です。そのためには，歯を顎骨に維持・固定している歯槽骨の病態と再生をアンチエイジングの視点から検討することも必要です。そこで，「骨リモデリング機構」，「歯周疾患に伴う組織破壊の分子機構」および「歯周組織再生」といったテーマを中心に，これまで蓄積した研究データや最新の研究技術を学び，単に病態の解明や組織の再生を考えるのではなく，病状の軽減や免疫反応の活性化なども視野に入れながら，QOLの向上を考えたいと思います。</p> <p>生化学・分子生物学分野の研究では，生体の発生・分化や疾患機構の解明とその治療法の開発など幅広い分野で「未知の世界に踏み込んで光明を見いだす喜び」を知ることができます。若いうちに研究生活の楽しさを是非とも味わって，生涯研修が必須である歯科医学への本格的参入に際して大いに役立ててもらいたいと考えています。</p>
テ ー マ	<p>テーマ：</p> <ul style="list-style-type: none">・硬組織形成細胞の分化機構の解明・歯周組織再生を促す歯科材料の作用機序の解明・口腔内細菌の病原性因子の解明・酸化還元による細胞機能の調節機構の解明・骨疾患・歯周疾患の“予防”を視野に入れた創薬研究
内 容	<p>内容：</p> <p>一方通行的な講義形式ではなく，各受講者の研究テーマに則した課題を提示し，担当教員と討議することで理解を深めて行きたいと考えている。また，定期的に各受講者に研究成果を発表してもらい，担当教員との自由討論を通じて研究内容ならびに関連事項に関する理解度を確認しながら進める。</p>
成 績 評 価	<p>成績評価：</p> <p>出席，討論への参加度，学会発表あるいは論文発表等から総合的に評価する。</p>
そ の 他	<p>その他：</p>